

弥生。冬眠していた生き物がそろそろ目を覚ますように、さまざまな春色の花も咲き始めるころ、草木も「いよいよ生い茂る」という意味で「いやおい」から変化したともいわれています。余寒も和らぎ春めく季節は、行事も盛り沢山です。上巳(じょうし)の節句(ひな祭り)、卒業式、入園、入学、就職、転職、転勤などの新生活への準備に気持ちも春色になります。

さて、その季節の節目に「私のきものアルバム」も卒業です。あつという間の一年間でしたが、皆さまには大変お世話になりました。

私のきものアルバム3月(最終回)

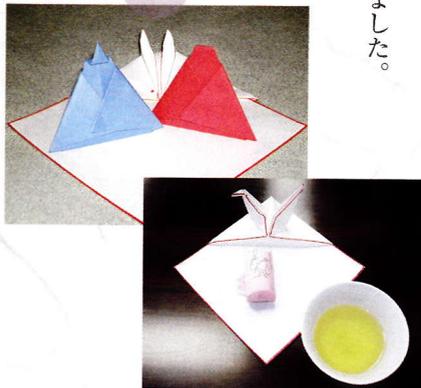
文・物撮／林良江 撮影／内田祐介
スタイリスト／一戸都 バッグ／着物リメイク 小袖



沢山の素晴らしい出逢いと経験をさせていただきました。この場を借りまして心より感謝を申し上げます。

今月のきものは、乳白色と空色をあしらった桜文の小紋。「装道礼法きもの学院」での課外授業の一環で訪ねた、結城市の工房で購入した結城紬です。帯は、銀伯、螺鈿を散らした雛人形文のお気に入りの名古屋帯です。

今月のきもの遊び



桃の節句にひな遊び

五節句の一つ、「上巳(じょうし)の節句」は「桃の節句」のこと、中国の水辺で禊(みそぎ)をして穢れ(けがれ)を祓(はら)ったという習慣と、紙や草などで作る人形(ひとかた)で体を撫で穢れを移し、水に流すことで厄を祓う日本の風習が混じり合ったものが雛祭りの原型でした。今でも行われている「流し雛」はその名残です。桃の節句には、桃の花と菜の花を飾り、ちらし寿司、蛤のお吸い物、桃の花を浮かべたお酒と千代紙で折る雛人形や鶴の菓子置き、箸置きも手作りで親しい友人を招いてお祝います。



きもの美人の輪

林かおるさん

ピアノ弾き語り奏者、墨彩画家。2003年まで、京都を中心にホテル、レストラン、ライブハウスでの演奏活動や生徒指導を行い、その後東京に活動拠点を移し、都内のライブハウスを中心にソロやバンドで演奏活動をしています。

歌うというより語りかけること、心を伝える演奏がモットーです。墨彩画家としては掛け軸、額絵、色紙などのほか、帯、きもの、和装小物などの作品を手がけています。題材はジャズ、動物、わらべ、招き猫などの縁起物が多く、観ると思わずニコニコしてしまう、ひたすら明るくて楽しい画風です。



きものでお出かけ情報

毎月、きものを着て集う楽しいイベントを用意しています。お気軽にご参加ください。

「～目白 椿山荘の吊るし雛・お花見・食事会2012～」
日：2012年3月3日(土) 11時20分～14時30分
所：「フォーシーズンズホテル 椿山荘」3階 メインロビー
東京都文京区関口2-10-8 ☎03-3943-5489
費：4,000円(お花見ビュッフェスタイルランチ代)

問・予約：和創美・林良江 090-7010-4723
<http://www.wasoubi.jp/> (和創美 検索)

林良江 ● はやしよしえ
法人企業・外食産業系会社創業社長(17年間)を経て、
マダム路子会長の「国際魅力学会」魅力心理士として活動。
着付&礼法&ビジネススクール講師、マナーアドバイザー、経営コンサルタント、
フードコーディネーター、占い師、パーソナリティーなどマルチに活躍。
また「輝く女性作りセミナー・シャイニング(女性講師軍団)」を主宰。「和創美」代表。



大阪は堺市の出口美穂さん、「自分らしく季節感を大切にしていきたい」というメッセージと共に、「きもの大好き4人娘(つもり)」という写真が届きました。スイーツまで平らげた後、レストランの中庭での記念撮影!



クレストホテル立川で従姉妹の結婚式へご出席の千葉利恵さん。お母さまと叔母さまがきもの好きだった影響で着付け教室へ通って5年! 今では着付けもヘアメイクも出来るようになってきものライフを楽しんでいます。裾と袖の模様が見えないのがちょっと残念ですがお気に入りの訪問着で最高の笑顔です。



八王子の「にしわ」から届いたのは、久島望さんの成人式前撮りの写真です。大輪の牡丹の存在感と、絞りやぼかしで描かれた全体の雰囲気は、動きのある、風を感じるデザインで、活動的な望さんによく似合っています。ヘアスタイルを新日本髪のアレンジですっきりさせたセンスが光りますね。



長崎の池田恵美子さんから届いた晴れ姿! 小学校の卒業式で、あまりに大きく育ってしまったので着る服がなく、お父さまの紋付袴で出席! という裏話には思わず笑みがこぼれます。これから身も心もますます大きく育ってくださいね。



2011/03/18



京都のウライ株式会社の裏井健介さん。若い男性のきもの姿、カッコいいですね〜。



横浜の井上善雄さん、さすがはベテラン! 着こなしがお見事です。



黒の羽織がばっちり決まっている栃木市の「丸森」の中新井律子さん(左)とシックな小紋に型染めの帯の藤井寺市の「あだち」の足立ゆりかさん(右)はともに着付け教室の先生兼若女将です。センターは、連載でおなじみの林良江さん。江戸小紋のシックな装いです。来月号からは新連載がスタートですますます張り切っています。